

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 2 0 日 更新

事務事業名		熊本県防衛協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	岩田 建一	
	施策	14	危機管理対策の推進				所属課	総務課	担当者名	安武 恭一	
	施策の柱	47	危機管理対策				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 10018	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県防衛協会の市町村会員となり、協会の事業を側面から支援する事業である。 熊本県防衛協会事業目的：自衛隊の激励及び慰問、退職隊員の就職斡旋などを行うと共に、自衛隊の諸行事に協力し、隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力することを目的としている。 ・昭和30年半ば日本海側一体を襲った豪雪に際し、自衛隊が迅速に出動し、約1ヶ月にわたり献身的な働きをして多くの国民から感謝され、熊本では、昭和37年4月に当協会が設立された。 ・PKO活動、UNDOF活動、東日本大震災救助・復旧活動等への参加及び国民保護法の成立により自衛隊の果たす役割は一層高まってきている。)
【業務の流れ】	同会の目的に賛同し、負担金を支出し、各種行事へ参加する。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
県防衛協会への負担金の支出を行った。		負担金の支出及び各種行事へ市長等が参加
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 行事の数	回	
⇒ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
自衛隊の活動	⇒ ア: 年間の活動への参加要請件数	件
	⇒ イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
参画、協力できる。	⇒ ア: 案内に応じて参画、協力(出席)した割合	%
	⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
防衛協会の会員となり、自衛隊活動へ参加する事で思想の普及や緊急時の市民の安全を守る情報を収集できる。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標		ア イ	回		3	3	3	3	3	3	3	3
② 対象指標		ア イ	件		3	3	3	3	3	3	3	3
③ 成果指標		ア イ	%		0	100	100	100	100	100	100	100
投資 入費 量	事業 内訳	財 源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	10	10	10	10	10	10	10	
		(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	10	10	10	10	10	10	10	0
			(A)のうち指定経費	千円	10	10	10	10	10	10	10	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費		正規職員従事人数	人	2	2	3	1	3	3	3	0
			延べ業務時間	時間	8	8	0	10	0	0	0	0
			(B)人件費計	千円	0	31	0	39	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)			千円	10	41	10	49	10	10	10	0

事務事業名	熊本県防衛協会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協会の活動に参加する事で、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 防衛協会が主体的に活動しているので、向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 防衛協会が主体的に活動しているので他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の従事時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民の生活安全につながり適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 防衛協会が主体的に行うので、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

自衛隊の激励及び慰問、退職隊員の就職斡旋などを行うと共に、自衛隊の諸行事に協力し、隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								